禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B81

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
２級 サッシ施工 学科試験問題
(ビル用サッシ施工作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ.　A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ.　B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ.　答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法)］

1　サッシにガラスのはめ込みを完了すれば、サッシの調整は行わなくてよい。

2　サッシの取付け高さは、出入り墨により決められる。

3　サッシを連窓する場合の接合材には、一般に、方立を使用する。

4　サッシ後付け工法における湿式工法では、建具枠を溶接固定した後、建具枠と躯体間にモルタルを詰める。

5　研磨布紙の研磨材の粒度は、P120よりもP240の方が粗い。

6　サッシの溶接固定において、サッシアンカーのピッチは、中間部で700～900mmとする。

7　モルタルは、セメント、砂及び砂利に水を加えて混ぜ合わせたものである。

8　現場に搬入したサッシ製品は、枕木等を敷いた上に平積みして保管する。

9　アルマイト処理されたアルミニウム合金製サッシの清掃には、中性洗剤を使用してもよい。

10　ゴンドラとは、つり足場の作業床が専用の昇降装置により、上昇又は下降する設備をいう。

11　強化ガラスは、建築現場で必要寸法に切断するとよい。

12　両開き戸には、上げ落し(フランス落し)が付いている。

13　ガラリは、採光を主目的とした建具である。

14　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの水密性の等級において、W-1は、W-2よりも水密性が高いとされている。

15　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの枠見込寸法100mmに対する寸法許容差は、±4mmとされている。

16　日本産業規格(JIS)によれば、ドアセットにおける必須の性能項目には、開閉力が含まれるとされている。

［A群（真偽法）］

17　シーリング工事に使用するプライマーの目的の一つは、被着体へのシーリング材の接着性を向上させることである。

18　アルミニウムの比重は、鉄の約1／3である。

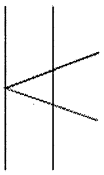
19　コンストラクションキー装置は、工事完了後、シリンダーを取り替えることなく工事期間中に使用していたキーを無効にするものである。

20　建具において、ドアクローザは、とびらを自動開閉する装置である。

21　鉄骨鉄筋コンクリート造は、一体式構造である。

22　階段の勾配は、踏面の寸法が同じであれば、蹴上げの寸法が大きいほど急になる。

23　にじり墨において、正しい墨は、左である。



24　建築基準法関係法令によれば、鉄製で鉄板の厚さが1.5mm以上の防火戸は、特定防火設備であるとされている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、直径の減少が公称径の7%をこえたワイヤロープは、クレーンの玉掛け用具として使用してはならないとされている。

［B群（多肢択一法）］

1　サッシ取付け用の墨に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　取付けの基準墨は、総合工事業者が墨出しする。
　ロ　取付け用の逃げ墨や割付墨は、サッシ取付け業者が墨出しする。
　ハ　開口部に修正が生じた場合、はつり墨は、主に総合工事業者が墨出しする。
　ニ　取付けには、陸墨、芯墨、出入り墨の3次元方向の墨が必要である。

2　サッシ関連部材と関連工事との組合せとして、適切なものはどれか。

	部材	工事
イ	額縁	軒天井工事
ロ	ボーダー	内装仕上げ工事
ハ	笠木	パラペット工事
ニ	フラッシング	ガラス工事

3　サッシの保管に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　製品の転倒や飛散防止策を考慮すること。
　ロ　製品に変形、傷等を生じないこと。
　ハ　通気がなく湿気のあること。
　ニ　取付け順序を考慮した合理的な保管を行うこと。

4　鋼製ドアの取付け工事において、取付け前にあらかじめモルタルを充填する箇所として、適切なものはどれか。
　イ　枠四方
　ロ　上枠
　ハ　たて枠
　ニ　沓摺（くつずり）

5　サッシの取付けにおいて、高さを決めるのに適切でないものはどれか。
　イ　下げ振り
　ロ　さしがね
　ハ　レベル
　ニ　直尺

6　研削を行う工具として、適切なものはどれか。
　イ　シャーレンチ
　ロ　ディスクグラインダ
　ハ　ジグソー
　ニ　インパクトレンチ

［B群（多肢択一法）］

7　板厚2.3mmの鉄板に、M4のねじ用のタップ立てを行う場合、下穴の径として、最も適切なものはどれか。

イ　2.8mm
ロ　3.2mm
ハ　3.5mm
ニ　3.8mm

8　シーリング工事に使用するバックアップ材の使用目的として、適切なものはどれか。

イ　目地幅の調整
ロ　接着面の保護
ハ　2面接着の防止
ニ　目地深さの調整

9　サッシ取付けの溶接作業に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　溶接後、モルタルを充填しない場合、スラグを除去し、錆止め塗料を塗布する。
ロ　溶接用鉄筋は、サッシアンカーと埋め込みアンカーの最短距離で取る方が望ましい。
ハ　建具枠の溶接は、一般に、9mm径の鉄筋で連結する。
ニ　溶接棒は、溶接する母材が鉄でもステンレスでも同じものを使用する。

10　ゴンドラに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　使用しているゴンドラの定期自主検査は、3か月に1回行う。
ロ　ゴンドラの性能検査は、通常は、登録性能検査機関が行う。
ハ　ゴンドラの作業床の上で、脚立やはしご等を使用して作業してはならない。
ニ　ゴンドラの操作は、当該業務に関する安全のための特別の教育を修了した者が行う。

11　断熱性が最も優れているガラスはどれか。

イ　強化ガラス
ロ　複層ガラス
ハ　フロート板ガラス
ニ　型板ガラス

12　内倒し窓に使用しない付属金物はどれか。

イ　ストッパー
ロ　キャッチ
ハ　突出棒
ニ　丁番

［B群（多肢択一法）］

13　召合せかまちに関する記述として、適切なものはどれか。

イ　引違い・片引きなどにおいて、閉鎖時に戸が重なり合う部分に用いられている戸のたて部材をいう。

ロ　片引きなどで、閉鎖時に戸と重なり合う部分に用いられるフィックス部材をいう。

ハ　フィックス部の内にあって、その両端が枠に接しガラスを仕切る部材をいう。

ニ　戸の内にあって、ガラスを仕切る部材をいう。

14　同一面積の排煙窓の開閉形式として、排煙に最も適しているものはどれか。

イ　外倒し

ロ　開き

ハ　すべり出し

ニ　引違い

15　日本産業規格(JIS)において、サッシの必須の性能項目でないものはどれか。

イ　気密性

ロ　耐風圧性

ハ　開閉繰返し

ニ　日射熱取得性

16　日本産業規格(JIS)によれば、サッシ可動部分(とびら、障子)が円滑に作動する開閉力の値として、正しいものはどれか。

イ　20N

ロ　50N

ハ　80N

ニ　110N

17　ステンレス鋼の特質として、適切でないものはどれか。

イ　加工性が良い。

ロ　耐熱性がある。

ハ　耐食性が高い。

ニ　軟鋼に劣らない強度がある。

18　建具とそれに使用される付属金物の組合せとして、適切なものはどれか。

建　具	付属金物
イ　開き戸 ・・・・・	クレセント
ロ　開き窓 ・・・・・	カムラッチハンドル
ハ　引き戸 ・・・・・	ピボットヒンジ
ニ　たて軸回転窓 ・・	丁番

［B群（多肢択一法）］

19　RC構造と呼ばれる建築構造はどれか。

イ　鉄筋コンクリート構造
ロ　鉄骨構造
ハ　鉄骨鉄筋コンクリート構造
ニ　プレハブ構造

20　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

鉄筋コンクリート構造では、一般に、(①)を鉄筋が、(②)をコンクリートが負担している。

	①	②
イ	せん断力	引張り力
ロ	圧縮力	せん断力
ハ	引張り力	圧縮力
ニ	圧縮力	引張り力

21　建築設計図面の展開図で、読み取りができないものはどれか。

イ　外部の壁面詳細の確認
ロ　窓及びとびら等の配置の確認
ハ　室内の形状及び仕上げの確認
ニ　建物内部の壁面の確認

22　建築図面において、地盤面を表すものはどれか。

イ　F.H.
ロ　F.L.
ハ　G.L.
ニ　G.M.K.

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の平面表示記号が表すものはどれか。



イ　引違い戸
ロ　シャッター
ハ　出入り口一般
ニ　両開きとびら

［B群（多肢択一法）］

24　建築基準法関係法令によれば、主要構造部に含まれないものはどれか。

イ　柱

ロ　壁

ハ　はり

ニ　間仕切壁

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、墜落の危険のある箇所に設ける手すり等の高さは、(　　)cm以上とされている。

イ　75

ロ　80

ハ　85

ニ　95